

## 第61回北日本産科婦人科学会 総会・学術講演会

平成25年9月7日(土)・8日(日)にかけて旭川グランドホテルにて、第61回北日本産科婦人科学会 総会・学術講演会が開催されました。当会は旭川医科大学産婦人科 千石一雄教授を会長として開催されました。素晴らしい学術講演と討論により、盛会のうちに終了致しました。当大学および関連病院から8題の一般演題、また宇都宮裕貴准教授が特別講演、さらに3名の先生が座長をつとめられました。

一日目には、当大学 宇都宮裕貴 准教授が「エストロゲン依存性腫瘍の治療戦略」と題し、特別講演にて発表を行いました。内容に関し、会場からも非常に多くの賞賛の声を浴びていました。

また、永瀬智 准教授が一般口演の座長を勤められ、活発な討論を遂行されました。

当大学永井智之先生、重田昌吾先生、西本光男先生、井原基公先生および高橋総太先生(八戸市立市民病院)が一般演題を発表し、ともに活発な討論が行われました。

当日の講演会終了後には、同じ旭川グランドホテルに於いて総懇親会が盛況に開催されました。

二日目には、八重樫伸生教授が産婦人科診療ガイドライン(婦人科外来編)についてのクリニカルセミナーの座長を務められました。当大学客員教授である武田卓 教授(近畿大学東洋医学研究所)がガイドライン中の女性のヘルスケア部門の変更点を中心に紹介されました。

また、杉山隆 教授が一般口演の座長を務められました。

一般演題では、濱田裕貴先生、西堀翔子先生、田中恵子先生(スズキ記念病院)および熊谷祐作先生(石巻赤十字病院)が発表され、ともに活発な議論が行われました。

西本光男先生は見事優秀演題賞を受賞され、閉会式にて表彰されました。

